

## 2024.01.22 シニアクラブ Online 会合報告

新年早々地震、事故、訃報などあまり芳しくない話が随分と続いてきました。今年の干支は甲辰（きのえたつ）、甲は十干の始まりで辰は立ち上がる、即ち、事物が新たに始まる年と言われており、今年の先行きを暗示するような出来事でした。

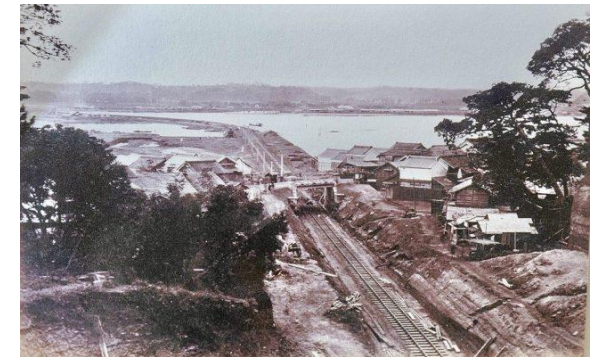


ところが、昔から続く干支は旧暦によるもので、旧暦ではまだ新年（2月10日）を迎えておらずそれら芳しくない話は前年最後の出来事と考えると、余計な心配せずに今年も楽しく過ごしましょう。

昨年から続いた東海道五十三次の話の延長線上で浅見さんから鉄道唱歌の紹介が始まりました。今回は明治5年（1872年）の鉄道開通で一方のターミナルとなった「横浜駅」の歴史を眺めました。

明治22年（1889年）には東海道が神戸まで鉄道で繋がり、初代横浜駅（現：桜木町駅）は脇に置かれて、昭和3年（1928年）に横浜駅（3代目）が現在の位置に置かれることになりました。

広重の「神奈川宿」では東海道を行く旅人を茶屋の娘が客引きをする姿が描かれています。その茶屋の後ろは海が広がっていましたが、鉄道はその海を渡って走っていきました。



写真資料：横浜開港資料館

手前が神奈川宿で、海に土手を築き列車は左奥の横浜駅（桜木町）へ。現在の横浜駅はこの土手の上に置かれていることになります。

【参考】初代横浜駅跡「JR桜木町駅」 <https://senseki-kikou.net/?p=18757>  
二度も移転した横浜駅 <https://www.tetsudo.com/report/320/>

・宮田さんから、過去に起きた出来事と天文の事象について紹介。今年の大河ドラマ「光る君へ」が始まりました。物語の最初は貞元2年（977年）大内裏の陰陽寮で星を見る場面でした。安倍晴明が輝きを増した星を見て都に凶事の始まりを予言しています。

986年7月31日（寛和2年6月23日）夜、木星がてんびん座に接近。同じ夜、日が変わり8月1日の午前0時頃月が昴に重なっています。この日、花山天皇が譲位して第66代一条天皇が即位したのは、この天体の動きを事前に知った権力者、藤原一族が凶事として仕掛けた裏工作だったと。この夜の星空の様子を天体ソフト「ステラナビゲータ」を用いて紹介がありました。（次頁参照）

・浅見さんから、鉄道唱歌のように長い歌を探したらこんな歌があったとのこと。某メーカーが若い女性向けにシャンプーの宣伝に使い全国各地で後姿を写した「ふりむかないで」。ご当地の映像とソングで72番まであるそうです。

この歌は著作権の心配もあり、浅見さんの歌は録画せず、youtubeに載っているものを参照ください。 [https://www.youtube.com/watch?v=PhVCnk\\_yg5U](https://www.youtube.com/watch?v=PhVCnk_yg5U)




続いて、本題の鉄道唱歌に戻り、御殿場を過ぎて富士に至りました。

### 歌でたどる東海道



▲ 御殿場からの富士山 ▲ 三島大社





### 鉄道唱歌

東海道線(国府津→富士/13~18章)

作詞 大沼田彦博  
作曲 多 権雄

いでは くぐるトンネルの 前後は山北(やまきた)小山(こやま)駅  
今も忘れぬ 鉄橋の 下ゆく水のおもしろさ

はるかに見えし富士の嶺(たけ)は はや我がそばに 来(き)たりたり  
雪の冠(ゆきのむね)の雲の帯(おび)も けだかき 姿にて

ここぞ御殿場 夏ならば われも登山を ころもみん  
高さは一万 数千尺(せんぜんぼ)の十三州も ただ一目(ひとめ)

三島は近年 ひらけたる\* 豆相(まめそう)線路の わかれみち  
駒(こま)はこの地の名を得たる\* 官幣(くわんぺい)大社の宮居(みやい)あり

沼津の海に聞こえたる 里は牛伏(うしふせ)我入道(わがにゅうだう)の(歌)  
春は花咲く 桃(もも)のころ 夏は涼しき 海(うみ)のそば

鳥の羽音(はねとね)に おどろぎし\* 平家の語(へいけのこたえ)は昔にて  
今は汽車ゆく富士川(ふじがわ)を下(くだ)るは身延(みえん)の婦(め)り舟

1900[1433] 陸奥の国歌

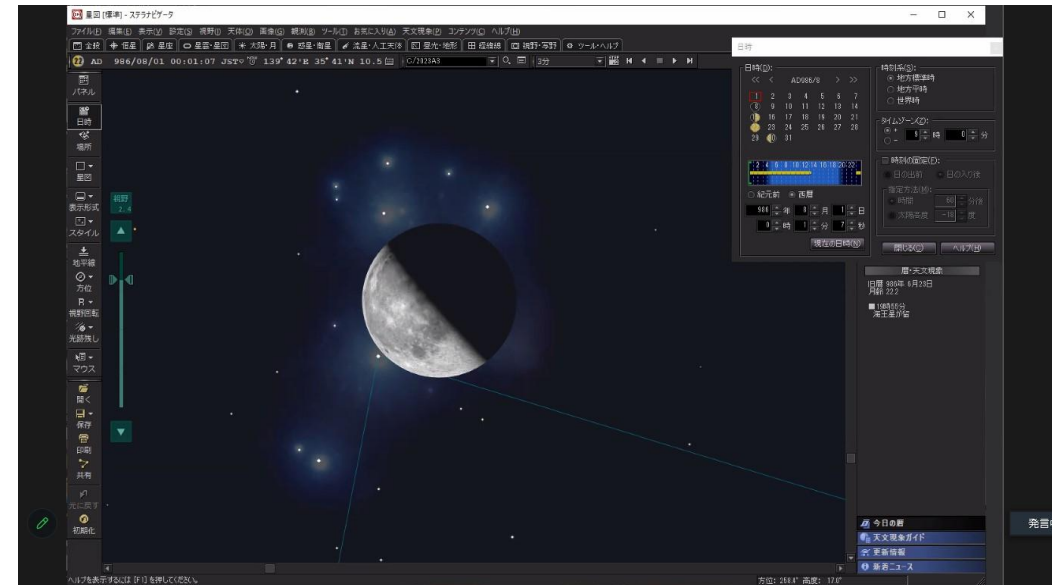
※十三州…關八州と伊豆、駿河、遠江、甲斐、信濃の五州  
※三島…現在の下戸崎駅、身延トンネル開通で三島駅を新設  
※豆相線路…現在の伊豆箱根鉄道駿豆線(→伊豆線)  
※官幣大社…國の祭儀がある神社。三島大社を指している  
※牛伏我入道…「牛伏山」>「新野川」>「我入道」の流しは、名所  
※1890年、頼朝軍と戦った平家軍が羽音に羽音を歌進した歌

浅見さんの熱演の様子は次を参照ください <https://youtu.be/4eHpubdw8I>

続いて宮田さんのステラナビゲータの映像をご覧ください。



西暦986年7月31日、20時1分  
木星とてんびん座が大接近



同夜、日が変わって8月1日0時1分 月が完全に昴(プレアス星団)を隠している  
当時の人々にとって、日食や月食など星々が重なることは凶事の現れ  
と恐れ戦かれていたため、これを予知していた藤原一族の謀略によっ  
て天皇が変わることになってしまったとのこと。

大河ドラマではこれから起こる話であるが、番組の中でどこまで  
これが語られるか関心持って観ることにしましょう。

宮田さんからはこの他に天文に絡む出来事の紹介がありました。

- 西暦247年3月24日夕刻に北九州で見られた日食は天岩戸伝説  
につながるのではない、はたまたそれは九州の邪馬台国説の裏付け  
となるのではないか
- 1701年2月8日(旧暦で元禄14年元日)に起こった日食はその  
年の凶事を予告していたのではないか。この年3月14日(新暦4月  
21日)浅野内匠頭の松の廊下の事件が起きている etc  
ステラナビゲータについては次を参照 <https://youtu.be/uDaELTb7QH4>  
それにしても昔の人は望遠鏡もない中で、よく空を見ていたものです。  
とても興味ある内容でした。それではまた次回お会いしましょう。

2024.01.24 JVC KWシニアクラブ事務局 田代 周